

ニュースリリース

平成 21 年 9 月 4 日

JGAS 2009

Japan Graphic Arts Show 2009

Komori JGAS 2009 テーマ: KOMORI SOLUTIONS

2009 年 10 月 6 日(火)～10 日(土)

東京ビッグサイト 東 2 ホール E202

KOMORI

株式会社小森コーポレーション

お問合せ先

販売推進部 部長：吉川武志

TEL:03(5608)7806 FAX:03(3624)9519

KOMORI の基本テーマ

Kando: Beyond Expectations

私たち KOMORI は、1923 年の創業以来、『すべてはおお客様からの発想のもとに。すべてをおお客様の満足のために。』を会社方針とし、お客様に感動していただける製品やサービスをお届けし、社会文化の発展に寄与していきたいと思っております。それが私たちの目指す『顧客感動企業』です。KOMORI は今後もさらに、印刷の新たな可能性を広げ、印刷業界の豊かな未来につながるように、積極的にチャレンジを続けてまいります。

KOMORI の JGAS 2009 テーマ

KOMORI SOLUTIONS

私たち KOMORI は、よりよい製品、サービスをお届けすることを使命と考え、新製品開発はもとより、予防保全活動、環境保全活動など積極的に取り組んでおります。

JGAS 2009 では、メインテーマに『KOMORI SOLUTIONS』を掲げ、『KOMORI QUALITY』、『KOMORI ASSISTANCE』、『KOMORI ECOLOGY』の3つの視点から、KOMORI ブース、KOMORI セッションを通じて、お客様のビジネスの発展と成長に貢献できる、お客様の立場に立った最適なビジネスのソリューションをご提案してまいります。

KOMORI SOLUTIONS ～ 3つの視点 ～

1. KOMORI QUALITY ～ KOMORI が守る『品質』～

- ◆ 新製品 LS-432 を始めとした KOMORI 印刷機の高性能・高品質・高信頼性
- ◆ 統合管理システム KHS-AI(コモリハイパーシステム AI)による切替時間短縮と損紙削減
- ◆ 印刷品質検査装置 PQA-S/PQA-W による品質管理
- ◆ 新乾燥方式 HYBRID UV システムによる高品質、短納期、損紙削減
- ◆ JDF 連携のデータマネジメント(KHS-AI、DoNet、PDC-S II、他)
- ◆ 展示機以外の製品ラインナップや高付加価値仕様
- ◆ 高付加価値印刷サンプル(プリントギャラリー)

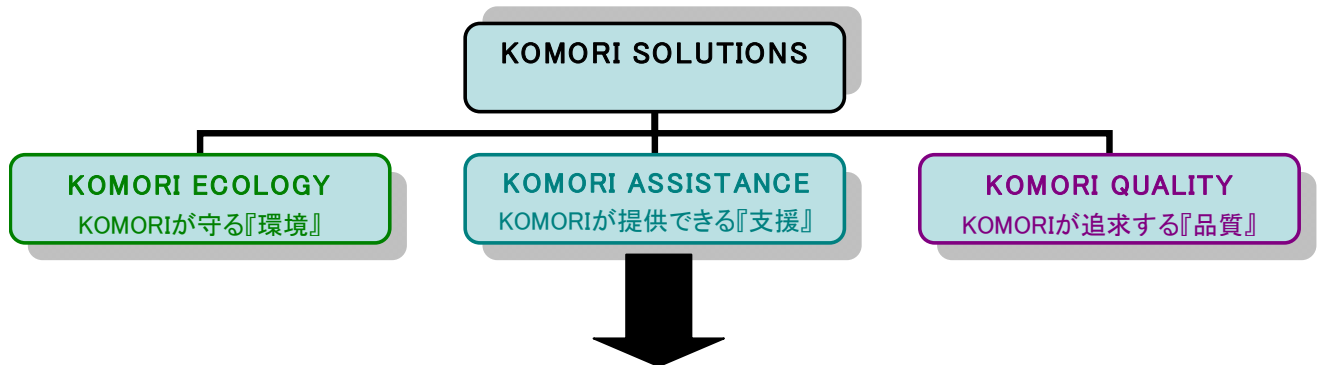
2. KOMORI ASSISTANCE ～ KOMORI が提供できる『支援』～

- ◆ 充実した Before/After サービス体制
- ◆ 既設機へのアップグレード商品(レトロフィット)
- ◆ 工場診断、工場改善フォロー
- ◆ 予防保全や工場診断、工場管理などのセミナー
- ◆ KGC による教育を含めたお客様サポート

3. KOMORI ECOLOGY ～ KOMORI が追求する『環境』～

- ◆ 環境関連展示マップのパネル表示
- ◆ 環境関連展示(KHS-AI、HYBRID UV、レトロフィット商品、環境対応資材、他)
- ◆ KOMORI 環境社会活動の解説(ビデオ及びパネル)
- ◆ KOMORI 印刷機の環境対応内容の解説

『KOMORI SOLUTIONS』をメインテーマに、3つの視点から、いまお客様が求めておられる『品質』、『支援』、『環境対応』へのソリューションを具体的に導き出すお手伝いをいたします。また、印刷に求められる未来の形を実感していただける印刷機やシステムのご紹介をしていきます。

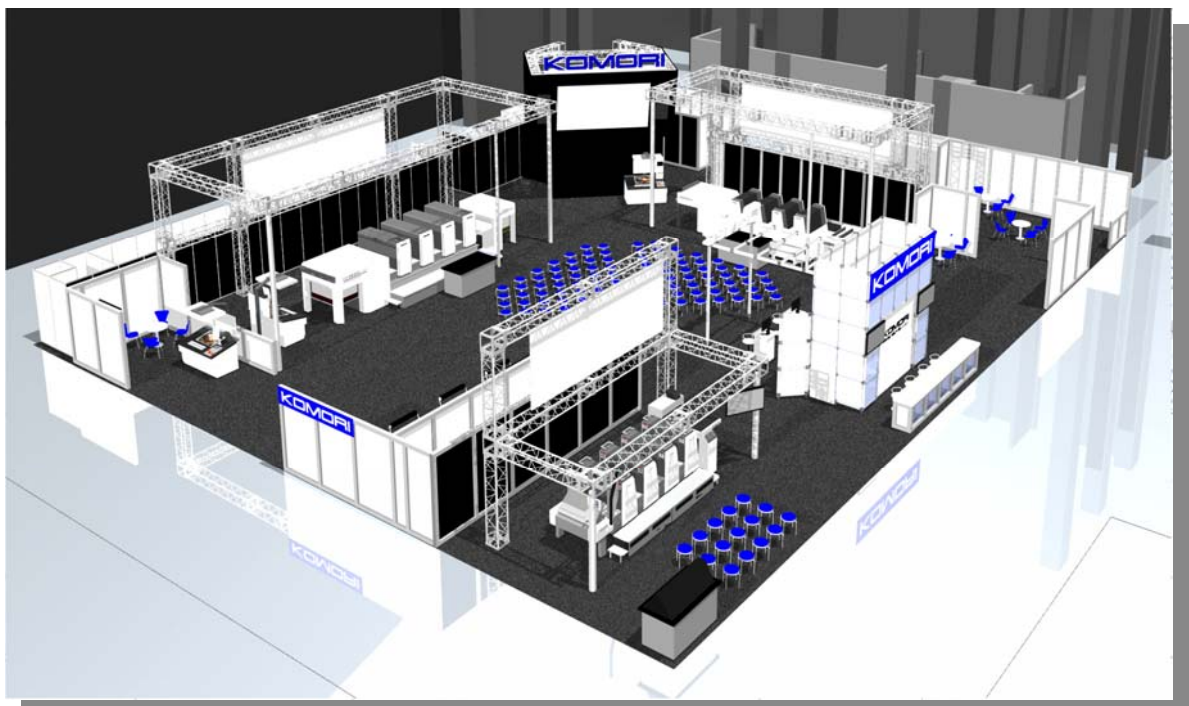


『実演＋コーナー展示＋KOMORI セッション』で 総合的且つ具体的にソリューションを提案

そして、これらをご確認いただくため、実演、コーナー展示、KOMORI セッションの3方向から具体的にご提案してまいります。定評のある当社の実演では、出展機3台による実際の仕事を想定した、難易度の高い様々な実演にチャレンジいたします。また、同ブース内にサービスコーナー、オフ輪コーナー、シャンボン・特殊印刷機コーナー、環境コーナー、DoNet コーナー、プリントギャラリーの6つの展示コーナーを設置し、お客様のあらゆるニーズにお応えできる情報もご提供してまいります。

会議棟1階の101会議室において開催いたします KOMORI セッションでは8つのセミナーを企画し、最新印刷技術から予防保全、印刷ビジネスモデルのご紹介等、お客様のビジネスのヒントとなるバラエティ豊かな情報をお届けいたします。

KOMORI ブースイメージ図

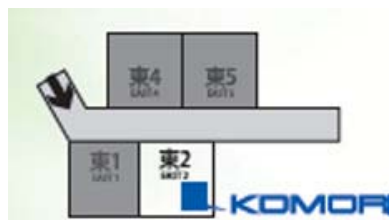


※実際のレイアウトとは異なる場合がございます。

JGAS 2009 の KOMORI ブース

KOMORI ブースでは、3 台のオフセット枚葉印刷機のご紹介とコラボレーションによるデジタルネットワーク DoNet の実演、6 つの展示コーナーを設けて、3 つの視点からソリューションの提案を行います。

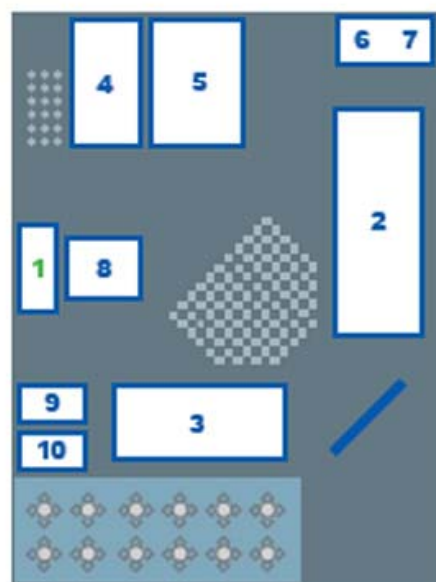
また、会期中 4 日間にわたり会議棟 1 階の 101 会議室において、皆様のビジネスのお役に立てる情報を満載した、8 つのセミナーを開催いたします。



KOMORI ブース 東 2 ホール E202

- 1 KOMORI ブース総合案内
- 2 LITHRONE S40
- 3 LITHRONE S32
- 4 SPICA 29P-W
- 5 サービスコーナー
- 6 オフ輪コーナー
- 7 シャンボン・特印コーナー
- 8 DoNet コーナー
- 9 環境コーナー
- 10 プリントギャラリー

BOOTH LAYOUT



※ブースレイアウト及び展示内容は、都合により変更になる場合がございます。

= 出展機 =

LITHRONE S40	菊全判 4 色オフセット枚葉印刷機 (LS-440)
LITHRONE S32 新製品	四六半裁 4 色オフセット枚葉印刷機 (LS-432)
SPICA 29P-W	菊半裁寸延反転機構 4 色オフセット枚葉印刷機 (SPICA-429PW)

= コーナー展示 =

■ サービスコーナー

KOMORI サービスでは、お客様に高品質かつ均一なサービスを提供できるよう、取り組んでいます。生産性向上、印刷品質向上、機械性能の安定化、災害被害の予防、損紙削減の5つの視点から開発した商品の実物展示や解説パネルを通じて、サービスサポートのご紹介をいたします。また相談コーナーでは、印刷機のサービスに関することでしたら何でもご相談いただけます。

■ オフ輪コーナー

国内輪転機市場70%以上のシェアを誇るKOMORI。SYSTEM シリーズは、高い印刷品質と究極のショートメイクレディで高い収益性を実現しています。オフ輪コーナーでは、ご導入ユーザー様の稼働の様子を映像でご紹介するとともに、使いやすい印刷検査装置として高い評価をいただいておりますオフ輪用印刷品質検査装置『PQA-W』を展示いたします。

■ シャンボン・特殊印刷機コーナー

パッケージ向けインライン印刷機は、フランスに拠点を置くKOMORI シャンボン社で生産されています。会場では、製品パネルの展示を通してご紹介します。

■ 環境コーナー

印刷業界においても環境対応は避けて通れない重要課題の一つです。KOMORI は、環境対応を経営方針に掲げ、『人と環境とマシンの調和』『環境配慮型印刷機の開発』を目指しております。環境コーナーでは、今回の展示品とエコの関係をマップにしたパネルや、モニターによる各種事例映像で詳しくご紹介します。最新の環境社会報告書の配布も予定しております。

■ DoNet コーナー

当社ブースは、大日本スクリーン製造様、ホリゾン・インターナショナル様、キヤノンマーケティングジャパン様のブースと近接し、連携デモンストレーションのもと、プリプレス、デジタル印刷、ポストプレスとのコラボレーションによるプロダクション・ワークフローのマネージメントをお見せします。それらに関連して、K-Station の最新バージョンを設置し、MISなどとJDFインターフェースを構築いたします。今回は、各社とのJDFコミュニケーションをライブで行うだけでなく、複数のMISとK-Stationとのコミュニケーションを個別に見ることができるよう、スタンドアローンの展示も行います。

■ プリントギャラリー

プリントギャラリーでは、今回出品しておりませんインラインコーターやコールドフォイルシステムなどの特別仕様を活用して作成しました高付加価値印刷サンプルを展示し、それらの印刷方法や技術背景をパネルなどでご説明いたします。

出展機と実演内容

LITHRONE S40

菊全判 4 色オフセット枚葉印刷機 (LS-440)

高い生産性・品質を約束する KOMORI のフラッグシップマシン

■ 特徴

リスロン S40 は、新開発の KHS-AI (自己学習機能付コモリハイパーシステム)、高速刷り出しやジョブ切替え作業を自動制御するスマートシーケンス機能などの新技術を搭載。菊全機でありながら、究極のシュートメイクレディを実現する小ロット対応マシンです。また、今回の出展機には、枚葉機用印刷品質検査装置『PQA-S』を搭載し、不良品の自動品質検査についてご紹介いたします。印刷準備時間、損紙低減により、環境にも優しい印刷機です。また、自動ノンストップ装置、ドライングユニットやインラインコーター、ダブルデリバリーなどの豊富なオプションを搭載することで、さらなる高付加価値印刷の実現が可能です。実演では、小ロット・短納期に対応できるスーパーメイクレディによる迅速なジョブ切替えをご確認いただけます。

■ PQA-S(枚葉機用印刷品質検査装置)の効果

～ 印刷中の品質検査で損紙の混入を予防 ～

PQA-S は、印刷中の品質をインラインで検査し、損紙の混入を予防するなど品質管理を徹底する装置です。品質検査は、CCD カメラを用いて基準絵柄(デジタルメモリ)をあらかじめ読み込み、印刷中の絵柄との比較を行い、その差が許容値範囲を超えると欠点として検出します。不良紙は、テープインサータからテープが挿入されるか、またはダブルデリバリーにて正紙と分けて排紙するかを選択できます。また、検出レベルの設定は、オペレーションスタンドのタッチパネルからお客様の用途に合わせてカスタマイズできます。なお、オフ輪用には色調維持機能も持つ PQA-W があります。

検出対象: 汚れ・インキ飛び・水たれ・油汚れ・インキ汚れ・色ムラ・継続的ヒッキーなどの欠陥・印刷用紙の不良など

■ 実演の見どころ

- ◆ 新開発の KHS-AI を搭載
- ◆ 新設計の PQA-S による徹底した品質管理と安定性の確立
- ◆ 極小ロット対応を可能とする技術力 (・Full-APC ・高速刷り出し ・最高 16,000 回転)
- ◆ ジョブ切替えの自動制御化
- ◆ ショートメイクレディでシングル段取りを実現
- ◆ 基本性能の高さ(高品位印刷、高付加価値印刷)
- ◆ コラボレーションによるデジタルネットワーク DoNet の実演

■ 基本仕様

型式	LS-440	
最大印刷速度	SPH	16,000
最大紙寸法	mm	720 × 1,030
最大印刷寸法	mm	710 × 1,020
紙厚寸法 (特別仕様)	mm	0.04 ~ 0.3 (0.06 ~ 1.0)
版寸法	mm	800 × 1,030



新製品

四六半裁4色オフセット枚葉印刷機 (LS-432)

LITHRONE S32

クラス最高の紙サイズに対応する最新鋭機

■ 特徴

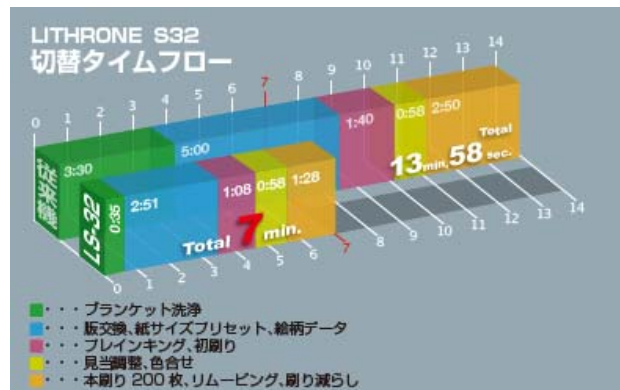
四六半裁の次世代戦略機・リスロンS32の新登場です。『生産性・操作性・印刷品質・高付加価値・スキルレス・環境対応』をコンセプトに、菊全機と同じ機能・仕様のフルスペックで開発しました。最大紙寸法は610mm×820mmとクラス最大。菊半機並みの設置スペースでありながら、L判・特寸サイズにも対応。パッケージやラベル印刷の面付にも効果を発揮します。0.04mmの極薄紙から0.8mmの厚紙まで適応(特別仕様)。1台で書籍や出版物からパッケージ、カードなど幅広いニーズに応えるコストパフォーマンスに優れた印刷機です。今回の出展機は、紙厚0.04~0.6mmの仕様で、高い品質・信頼性、そしてエコロジー、エコミーな新方式の乾燥装置HYBRID UVシステムをご提案いたします。

※展示機は紙厚寸法0.04~0.6mm仕様

■ バージョンアップにより印刷準備時間が半減(従来との比較)

ブランケット洗浄から見当調整、色合せの印刷準備時間と本刷り200枚、刷り減らしまでの時間を従来機と比較すると、次の通りとなります。(切替タイムフローご参照)

リスロンS32	約 7分
従来機リスロン32	約14分



■ 実演の見どころ

- ◆ 新開発の KHS-AI、各種自動化装置を搭載
- ◆ 四六半裁機では世界初の Full-APC 搭載
- ◆ 四六半裁クラス最大の紙サイズ、多彩な面付が可能
- ◆ 高付加価値印刷にも対応する豊富なオプション
- ◆ 高い品質・信頼性、エコロジー・エコミーな新方式の乾燥装置の提案 (HYBRID UVシステム)
- ◆ コラボレーションによるデジタルネットワークDoNetの実演

■ 基本仕様

型式		LS-432
最大印刷速度	SPH	16,000
最大紙寸法	mm	610×820
最小紙寸法	mm	297×420
最大印刷寸法	mm	585×810
紙厚寸法 (特別仕様)	mm	0.04~0.3 (0.04~0.8)
版寸法	mm	660×830



SPICA 29P-W

菊半裁寸延反転機構付4色オフセット枚葉印刷機 (SPICA-429PW)

コンパクトで小回りのきく All in One のマルチプレーヤー

■ 特徴

スピカ29P-Wは、B列半裁までの用紙に適したコンパクトな4色反転機。片面4色カラーと表裏2色を自動切替えてこなす多機能性を持ち、多様な仕事にフレキシブルに対応できます。B4の4面付け・B5の8面付け印刷、新聞折込のB4チラシ印刷も実現します。今回は、環境に優しい印刷資材(リユース版、ケミカルフリー版、無現像処理版など)による実演も企画しております。

■ ビジネスチャンスを見逃さない高い適応性が、お客様のビジネスチャンスを拡大

- ◆ 1・2色印刷に特化した印刷会社にとっては、4・5色印刷市場に移行するのに最適な印刷機。
- ◆ タイムな納期スケジュールにも対応可能な適応性の高い印刷機。

■ 実演の見どころ

- ◆ 品質の高い4色ストレート印刷
- ◆ B4の4面付、B5の8面付に対応可能なワイド機
- ◆ 環境対応の印刷資材を使用
- ◆ コストパフォーマンスに優れた新機能仕様機
- ◆ 小ロット・短納期に対応する各種自動化仕様

■ 基本仕様

型式		SPICA-429PW	
		(片面時)	(両面時)
最大印刷速度	SPH	13,000	11,000
最大紙寸法	mm	546 × 765	
最大印刷寸法	mm	535 × 755	526 × 740
紙厚寸法	mm	0.035 ~ 0.3	
版寸法	mm	605 × 765	



KOMORI セッション

JGAS2009 では、会議棟 1 階の 101 会議室において、下記 8 つのセミナーを開催いたします。

KOMORI 発信の最新印刷技術から予防保全活動、印刷ビジネスモデルのご紹介など、印刷に携わる方を対象としたバラエティ豊かなセミナーを企画いたしました。皆様のビジネスに大きなヒントになることを期待しています。

■ KOMORI セミナースケジュール一覧

- ◆ 開催日： 10月7日(水)～10日(土)
- ◆ 開催場所： 東京ビッグサイト 会議棟1階 101 会議室

	10:30～12:00	13:30～15:30
10/7 (水)	既設機から生まれる経費節減 KOMORI サービスからの提案 <small>(株)小森コーポレーション サービス技術本部 東日本サービス部 電気課 課長 松川 良平</small>	実録『職場診断から見える印刷のツボ』 <small>(株)小森コーポレーション 営業技術部 KOMORIスクール 専任講師 大塚 彰</small>
10/8 (木)	海外の印刷会社におけるビジネスモデル <small>(株)小森コーポレーション 販売推進部 部長 吉川 武志</small>	ヘキサクローム・ワークショップ <small>(株)研文社 プリンティングディレクター 三浦 芳裕氏、他 ※講演時間は13:30～16:30 となります。</small>
10/9 (金)	LED-UV を中長期的なビジョンで捉える <small>(株)小森コーポレーション 営業技術部 営業技術課 課長代行 中村 裕一</small>	『予防保全を成功に導く経営者の役割』 <small>(株)小森コーポレーション サービス技術本部 西日本サービス部 部付KPM推進担当 予防保全チーフアドバイザー 川名 茂樹</small>
10/10 (土)	『予防保全を成功に導く工場管理者の役割』 <small>(株)小森コーポレーション サービス技術本部 西日本サービス部 部付KPM推進担当 予防保全チーフアドバイザー 川名 茂樹</small>	『予防保全を成功に導く主役は印刷オペレータ』 <small>(株)小森コーポレーション サービス技術本部 西日本サービス部 部付KPM推進担当 予防保全チーフアドバイザー 川名 茂樹</small>

【KOMORI セッションの参加お申込み方法】

参加無料

セッションの参加お申込みは、ウェブによる事前登録制(各セミナー定員 70 名)です。

下記 URL にアクセスいただきお申してください。

JGAS2009 専用サイト



<http://www.komori.world.com/jgas2009>

※講師等の都合で変更になる場合がございます。定員制につき申込先着順とさせていただきます。

■ KOMORI セミナーの概要

【セミナー 1】

テーマ：既設機から生まれる経費節減 KOMORI サービスからの提案

講師：松川 良平 (株)小森コーポレーション サービス技術本部 東日本サービス部電気課 課長

日時：10月7日(水) 10:30~12:00

概要：未曾有の経済情勢、業界内での競争激化等、企業にとって経費削減は避けて通れない重要課題となっております。印刷オペレータが、日々印刷機械の健康管理を自ら行い、印刷現場の環境を整え、意識して印刷資材や社内エネルギーを有効活用することで、経費節減に寄与します。既設機の経費節減について、損紙削減・省エネの観点からご提案します。

【セミナー 2】

テーマ：実録『職場診断から見える印刷のツボ』

講師：大塚 彰 (株)小森コーポレーション 営業技術部 KOMORI スクール 専任講師

日時：10月7日(水) 13:30~15:30

概要：7年間、約120件の職場診断から、能率・品質を向上させ、維持するためには何を、どのようにすればよいかが見えてきました。印刷品質に大きく関与する、給水・インキ供給をはじめ、版(CTP)・印圧などの改善事例から日常管理すべきポイントは何かを探ります。職場診断を総括すると、『原点復帰』と『多少のノウハウの付加』であり、それを支えるバックボーンは『数値化』と『コミュニケーション』です。今回は、頻度の高い事例からその原因と対策を考え、具体策をご提案します。

【セミナー 3】

テーマ：海外の印刷会社におけるビジネスモデル

講師：吉川 武志 (株)小森コーポレーション 販売推進部 部長

日時：10月8日(木) 10:30~12:00

概要：それぞれの国におけるユニークな取組みで成功をおさめている印刷会社があります。中国・米国・欧州などの KOMORI ユーザーにおける経営方針、企業の仕組みや取組み、得意分野の仕事など、トップ・マネジメントへの現地ビデオ取材も交えて、ビジネスモデルをご報告します。

【セミナー 4】

テーマ：ヘキサクローム・ワークショップ

講師：三浦 芳裕氏、他 (株)研文社 プリンティングディレクター

日時：10月8日(木) 13:30~16:30

概要：パントン・ヘキサクローム・コンソーシアムのご協力により、ヘキサクロームに関する解説、ヘキサ・カラー・センターの特徴や使い方の実際、会員企業によって印刷されたサンプルの展示などを行います。多色プロセス印刷にご興味を持たれているカメラマン、デザイナー、DTP オペレータ、印刷関係者などの皆様必見の、トータルで3時間を越えるワークショップ・セミナーです。

【セミナー 5】

テーマ: LED-UV を中長期的なビジョンで捉える

講師: 中村 裕一 (株)小森コーポレーション 営業技術部 営業技術課 課長代行

日時: 10月9日(金) 10:30~12:00

概要: 最近、印刷業界の話題は何とんでも LED-UV。『早速、設備を検討しよう』となるのは機械メーカーとして嬉しいことですが、捉え方次第では思わぬ落とし穴が…。

経営的な観点・技術的な観点・営業的な観点から LED-UV を理解して、価値ある設備にするためにはどうすれば良いのかを一緒に考えましょう。また、KOMORI ブースで訴求するその他の技術情報も、併せてご報告します。

【セミナー 6】

テーマ: 『予防保全を成功に導く経営者の役割』 **経営者向け**

講師: 川名 茂樹 (株)小森コーポレーション サービス技術本部 西日本サービス部

部付KPM推進担当 予防保全チーフアドバイザー

日時: 10月9日(金) 13:30~15:30

概要: 『印刷現場の予防保全』の成功事例は既に 20 社になり、その成果は“驚愕”と表現しなければならないほどです。しかし、全ての会社が成功するわけではありません。人・物・金・時間・情報の『資源』をいかに投資するか。経営者の強いリーダーシップが必要です。全国の多様な成功事例から導き出した、KPM(小森式予防保全)成功への経営者向けセミナーです。

【セミナー 7】

テーマ: 『予防保全を成功に導く工場管理者の役割』 **工場管理者向け**

講師: 川名 茂樹 (株)小森コーポレーション サービス技術本部 西日本サービス部

部付KPM推進担当 予防保全チーフアドバイザー

日時: 10月10日(土) 10:30~12:00

概要: 『予防保全をやろう!』と決意したにもかかわらず、日々の仕事に追い立てられ、何から手をつければいいのか分からなくなる。時間ばかりが過ぎていく。管理者として自分自身と工場の課題は何なのか。工場管理者が苦労しながらどのような改善活動をしてきたのか、ここに焦点を当てて全国の成功事例をご紹介します。KPM(小森式予防保全)成功への工場管理者向けセミナーです。

【セミナー 8】

テーマ: 『予防保全を成功に導く主役は印刷オペレータ』 **現場オペレータ向け**

講師: 川名 茂樹 (株)小森コーポレーション サービス技術本部 西日本サービス部

部付KPM推進担当 予防保全チーフアドバイザー

日時: 10月10日(土) 13:30~15:30

概要: 『高価で精密な印刷機械』を自由に操り、常に最良のコンディションで印刷物を刷るから、印刷オペレータは『印刷技術者』と呼ばれるのでしょうか。しかし、印刷機械を大事にしない。メンテナンスしない。ローラー調整が出来ない。これでは『単なる作業員』ではないでしょうか。成功事例の現場の皆様は、『俺は印刷技術者だ』と胸を張っています。日々がんばっている現場オペレータ向けのセミナーです。